

①1日も早い復興を願って餅まき。餅を求める手の向こうには皆さんの笑顔 ②③④メッセージを書き込んだ「復興の灯り」。ぬくもりある光に鎮魂と復興の願いを込めた ⑤未来を担う子どもたちは元気いっぱいのダンス ⑥あでやかな舞で目を奪った大宮さんさ踊り ⑦迫力ある演奏で盛り上げた義民太鼓 ⑧おいしそうに焼き上がり大好評だった島越自治親交会のサンマ焼き ⑨柴さん⑩と松崎さんは餅まきにも協力



心ひとつに未来へ

田野畑村 復興祈念祭



東日本大震災から8カ月が過ぎ去った11月20日、アズビィ施設周辺で「田野畑村復興祈念祭～たのはたーど・けっぱっぺ祭～」を開催しました。村の1日も早い復興を願い、訪れた多くの皆さん。郷土芸能やコンサートを楽しんだり、鍋料理などを味わったりして会場にあふれる笑顔。復興への誓いを一つにしました。

村の復興に欠かせないもの、それは私たちの絆。

「これまでは復旧、これからは復興。復興への大きな狼煙を上げよう」と上机荒治村長のあいさつで始まった村復興祈念祭。会場には早朝から多くの人が訪れました。来場者は、野菜や料理などを次々と買い求め、友好都市・埼玉県深谷市の「煮ぼうとう」の振る舞いにも行列をつくっていました。

野外ステージ前は、芸能アトラクションを楽しむ人でいっぱい。子どもたちのかわいらしい踊り、村内芸能団体の勇壮な舞や太鼓に大きな拍手が送られました。長野県青木村の「義民太鼓」、盛岡市の「大宮さんさ踊り」も披露され、村内では普段見ることのできない芸能を、食い入るように見つめる姿がありました。

柴俊夫さんを特別ゲストに迎えた「松崎しげる復興コンサート」。超満員のアズビィホールに響く松崎さんの歌声は、復興への後押しをしてくれました。

前日19日には前夜祭を開催。早稲田大混声合唱団のコンサート、荒谷正勝さんのフォークソングライブで盛り上がりました。屋外では復興のメッセージが書き込まれたペットボトル「復興の灯り」を点灯。1000個の炎は、大震災犠牲者の鎮魂と、村の早期復興を願い、幻想的に輝いていました。

